

初爻變は初め高く後持合

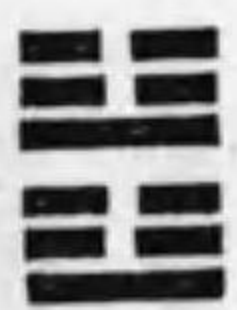
二爻變は持合時に不時入高き事も有り

三爻變は一時高くして後下る

四爻變は大暴騰天井知らずの高値を現は

五爻變は持合にして強き方  
上爻變は大に安し

すことあり



震爲雷

ウゴク  
フルフ

二龍競珠之象  
有聲無形之意

此卦の  
出た時  
春秋夏春  
半平吉  
半吉

此卦が出たときは祥福ありて繁昌するの象とす然れども通常の人には聲ありて形なきの意あれば吉凶共に何事も聞た程にはあらずとす、決断しがたきことあり物を争ふの意もあり己れ先に進む心のみありて後を顧るの違なく心騒しくして妄り

に進むことあれど又早く物に倦むことあり心落着かざる事あり近きを棄て遠きを望むことあり、大抵住居に付て思案定らず、金談等は調ひがたし大層勢ひあるやうに見ゆれども内心恐るゝことも亦強し油断より、失敗、散財不覺を取ることあれば能く注意すべし物に驚くことあり、親み破れて離散することあり、物に疑惑することあり、短慮を捨て人の意見に従ふを吉とす

○運氣何事も我が力ほごにするが吉

○願望性急なれば叶ひがたし

○婚姻は二三所より来る然れども故障起りて末遂げず

○金談半吉

○賣買追々ど利益を得

○待人は急いで來るとす  
○失物は怠つて自ら失ふ東の方を尋ね可  
○走人は遠く行んとす早く尋ねざれば知れがたし東より西に向ふとす  
○産は安からず男の子生る  
○裁判半吉人の意見に従ふべし

○得物様子よけれど得がたし後少し得

○轉宅開店見合すべし余り好みすぎて却

つて凶

○天氣雷雨ならん春冬は曇り

○占病 病ひは肝臓、痰咳、動氣、筋骨の痛み、肝の蟲、中風、脚氣、風邪、肩張

る、血の道

○病氣は凶急に治りがたし、醫者は東の方吉なり

○祟りは藥師様、不動様又は地所に付ての祟りとす

○旅行遠方は見合すべし連あれば吉

○轉職半吉

○就職心に迷ひ定めがたし人に任す可

○抱人半吉とす

○抱人半吉とす

○抱人半吉とす

○抱人半吉とす

○抱人半吉とす

初爻變は 雷地豫 一度動イテ後定ルノ意アリ幸悦アラシ

二爻變は 雷澤歸妹 印形書物ノ事ニ付テ難義迷惑アラシ

三爻變は 雷火豊 目上ノ人ト不圖口舌爭論起ルカ又損失アリ

四爻變は 地雷復 靜ナルトキハ後大ニ宜シ時節ヲ待ベシ

五爻變は 澤雷隨 婚姻養子ナドノ世話ゴト 一 上爻變は 火雷噬嗑 正直ナラザレバ凶

相場鑑定

●丑未戌の日なれば必ず高し、辰の日持合多けれども時に暴騰することあり

●巳午の日なれば大に高し

初爻變は相場下る様なれど却て高し

二爻變は漸次に安し

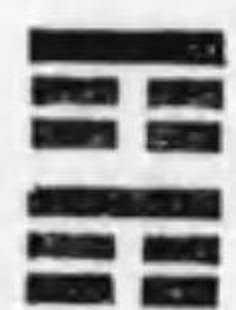
三爻變は初め上りて後持合

●寅卯の日なれば必ず大下落あり  
●亥子の日なれば相場弱く氣配引立たず  
●申酉の日は持合

四爻變は一旦上りて押目あれども後高し

五爻變は不時入て高きことあり後安し

上爻變は大に高し



艮爲山

トママル

山上鎖關之象  
葛藟纏身之意

此卦の  
出た時  
春夏  
秋冬  
吉凶  
吉凶

此卦の出たときは止まるに宜く進に損あり故に辛抱を第一とす根氣能く勉むるものは後ち必ず發達することあり總べて小を積んでだん／＼と大を爲すの意味なれば物事急にすべからず急にするときは半途にして破れを生ずることあり一山を越えて尙ほ亦一山あり之れ進むに害ありて止り居るを吉とす又山道を行きて葛蔓が手足に纏ふて進むにも退くにも苦む象ありとす新たに事を起し企つ事あり宜しからず始めは吉く行くやうなれど中途にして故障等起ることあり家内不和合、親戚口舌、失財、散財、朋友と脊中合せ鉢合せとなりて互ひに背て獨立せんとするの心もあり故に物事未遂げすとす且又性急なるに利からず成るべく心を落着けて蹈み止つて暫し時の至るを待て居れば必ず物事通達して悦びごと來るとす

○運氣は何事も滯りてうれい多し

○願望は凶邪魔有てなりがたし

○婚姻は途中で障りあれば見合すべし

○金談は凶出來ず

○賣買見合すべし彼是ど心勞多くして損失あり

○待人障りありて遅し又は來らずとす

○走人は東北の方を捜すべし行去て後ち歸り來ることあり

○失物は能く家の内を捜すべし東北の方の水石の間を捜すべし

○産は障りありて遅れるとす

○占病 病ひは腹、血の道、脚氣、腰痛み、腫物、疝氣、蟲、筋骨の痛み、懷妊

○病氣は長引く事あり、醫者は東北の方の醫者に掛るか吉

○祟りは山神、藥師様

○裁判勝利なし

○得物邪魔ありて得がたし

○普請轉宅止りて吉動く時は損失災有

○天氣は曇りて急に晴れがたし

○旅行見合すべし

○就職凶

○抱人は凶

初爻變は山火賁

家ノ内ヲ普請スル事アラ  
ン貞明ナレバ吉

二爻變は山風蠱

凶

三爻變は山地剝

不計親類縁者ニ付テ口舌  
争アリ目下ヨリ損失ス

四爻變は火山旅

物ヲカヘテ新規ノ事ヲ企  
ツ意アリ見合スベシ

五爻變は風山漸

貞正堅固ナルニ宜シ何事  
モ漸々長ズレバ吉

上爻變は地山謙

物事急ニ調ヒガタシ時節  
ヲ待ベシ急グトキハ損失ス

相場鑑定

◎此卦を占ひ得たる時

●辛亥の日なれば必ず上放れ高値あり

●申酉の日も亦高く申の日最も強し

●丑未戌の日は安し辰の日は多く持合

初爻變は一旦急下げありて後高し

二爻變高下往來定まらず後少し高し

三爻變は上値持合

●巳午の日は安き方

●寅卯の日は大抵少し上値あり

四爻變は段々下りて後少し戻あり

五爻變は一旦上りて後持合

上爻變は持合



風山漸

ヤツヤク  
ス、ム

山中植木之象

此卦の

千里一步之意

出た時

春夏秋冬  
吉吉吉凶

此卦が出たときは山上に木を植て茂生するの意なれば人も立身出世ありとす然し急には出来難し故に千里の道も一歩づゝ進むが如く行くときは遂に目的地に達することあり一足飛びに進み行んとすれば必ず苦みに逢ひ故障出で来りて失敗することあれば慎むべし此卦は大抵物に宜き手掛りを得るとす男女の中に思ふことあるか或は縁談、色情の難みもあり無益の事に気が急いで心配すること多くして思案落附かざることあり吉き咄しは聞ても未だ手に取りがたき意味もあり喩ふれば一段々坂を登りて高き山の絶頂に至るが如くするを肝心とす然るときは物事必ず調ふものとす

- 運氣は何事も少しづつ吉に向ふ
- 願望調ふべし
- 婚姻は調ふ少し遅るゝあり後に榮昌す
- 金談吉調ふべし
- 賣買次第に利運あらん
- 待人は遅れて来る先方怠つて居るとす
- 走人は東南の間を捜すべし
- 失物は外より知れて来ることあり東南の間を尋ぬべし
- 占病 病ひは肝臟、眩暈、筋詰り、腹、蟲、懷妊、産後の血、風邪
- 病氣は長引けど吉、醫者は東南方を吉とす
- 産は少し難みあり
- 裁判和談するが吉
- 得物十分にはあらず七分得べし
- 普請、引越、開店、何れも吉
- 天氣は晴れて風起る春は雨多し
- 旅行吉
- 轉職吉なれど急にせざるが吉
- 就職吉性急なる時は間違ひあり
- 抱人吉後々の爲になる

○祟りは水神様、稻荷様

變卦（未來）は本文の所を見對照して活斷鑑定せよ

初爻變は 風火家人

婦人ニ付テ悦事アルメシ 次第ニ吉

二爻變は 巽爲風

性急ナル事ヲ慎ム可シ心ノ落付キガタキ意アリ

三爻變は 風地觀

貴人ノ助ヲ得ルカ又ハ人ノ爲ニ心勞ノ起ル事アリ

相場場鑑定

◎此卦を占ひ得たる時

●亥子の日なれば高し、子の日殊に大上放れすることあり

●申酉の日は高く申の日必ず飛躍す

初爻變は初下り後上る

二爻變は高下往來あり後少し高し

三爻變は段々に上る

●丑未巳午戌の日は安き方辰の日は持合か或は下落することあり

●寅卯の日は持合

四爻變は意外の安値を現はすことあり

五爻變は高下激變あり少しく高止り

上爻變は底強くして下らず持合



雷澤歸妹

ヨメイリ  
マチガフ

少女追男之象  
顛倒醜態之意

此卦の  
出た時  
春夏秋冬  
吉凶吉凶

此卦の出たときは不意に思掛けなきことありて手違ひ多く我が物が我が用に立たざる意あり才智あれども人に輕んぜられ貴き者も人に賤めらるゝことあり不平の出ることあり怨み猜みを受けることあり金錢の心配あり諸事間違ひありて難儀迷惑することあり親しき人の心が變りて便りを失ふことあり不圖したことより口舌爭論することあり男女の關係を慎みて口舌争ひを注意し堅く從來の業を勵みて現状維持を守るを第一とす。

- 運氣何事も少さきはよし
- 願望彼是と物に間違ひありて叶ひ難し
- 婚姻は口舌起ることあれば見合すべし
- 再縁なれば差し支へなし

○金談出來す

○賣買利なし急なれば損退くに吉

○待人は急いで來るとす

○失物は東の方を尋ね婦人に問ふべし

○走人は早く尋ねざれば遠くへ行んとす

東の方を捜すべし

○産は安し女子生る

○裁判は凶

○占病 病ひは肝臟、胸、頭痛、口中の乾き、中風、脚氣、癩、耳鳴り、腰痛み

○病ひは重し、醫者は東方の人を吉とす

○祟りは藥師様、屋敷に付ての祟り

○得物少し障りあり十分に得がたし

○普請、引越、開店、何れも凶見合べし

○天氣は晴れ夏は雷鳴することあり

○旅行一人旅は見合すべし

○轉職動て却て心痛多し

○就職性急なるべし横合より邪魔出來る

○抱人凶

變卦(未來)は本文の所を見對照して活斷鑑定せよ

初爻變は雷水解

婦人ニ付テ口舌爭論有リ  
萬事油斷ナラズ

四爻變は地澤臨

進ミスギテ退キガタシ後  
悔アラン

二爻變は震爲雷

性急短慮ナルトキハ目上  
ニ背キ心勞アリ

五爻變は兌爲澤

養子又ハ別家ナドノ世話  
事アラシ

三爻變は雷天大壯

書物印形ノ取引事ヲ念入  
リニスベシ進ム凶退ク吉

上爻變は火澤睽

我意利口ヲ出ストキハ不  
圖損失アリ

相場鑑定

◎此卦を占ひ得たる時

●寅卯の日は大に強し

●巳午の日は不時の事等ありて意外の激變あり

●子亥の日は上放れあり亥の日殊に高し

●丑の日なれば高定め難し

●申酉辰未戌の日は安し

四爻變は持合小往來

初爻變は持合にして動かす

五爻變は大下落あらん

二爻變は初高く後少しく安し

上爻變は少しく安き方

三爻變は持合小安し



雷火豊

サカンナリ  
ユクタカ  
ノボル

俊隼獲雉之象

此卦の

殘花待雨之意

出た時

春吉 夏平 秋凶 冬平

此卦が出たときは學藝あるものは名譽を社會へ擧ることありそは豊とは盛大なり  
盛なる事恰も日が中天に昇り居るが如き卦なればなり然し、物盛んなれば必ず衰へ  
月滿れば缺るの喩への如く此卦も滿ち極つて衰への初めを來し居れば注意すべし余  
り高慢我意を張る時は失敗散財多くして後悔することあり或は詐り迷はさるるの意  
あり華美の意もあり親兄弟或は親しき人の爲めに心配苦勞あり離散することあり外  
見は美しく見えても内心は散財多し此卦は進むに凶にして退くに吉し酒と女を慎んで  
從來の業を堅く守りて熱心勉強し人の意見に従ふて萬事圓滿に行るを第一とす

- 運氣何事もあしし
- 願望叶ふべし余り進過て却て損失有り
- 婚姻は調ふ急く時は口舌あり見合す吉
- 金談出来がたし
- 賣買共に利なし
- 待人は急いで来る
- 走人は遠くへ人にさそわれて行んどす
- 失物は女より知れることあり遅る
- 占病 病ひは肝臓、腦、眼、中風、脚氣、産後の古血、打撲、心臓、熱の差引き
- 病氣は重し、醫者は東南方の醫者を吉とす
- 産は安し男子生る
- 裁判印形書物などの事にて起る進で凶
- 得物目上よりの事は得其他は不得
- 普請、引越、開店、繁昌の地に動く意
- 天氣は晴る夏秋は雷鳴することあり
- 旅行、途中少し障あれども吉
- 就職吉なれども永居しがたし
- 抱人半吉中途にて間違ひ出来る事あり

○祟りは薬師様、神木を伐りたる咎めとす

變卦(未來)は本文の所を見對照して活斷鑑定せよ

初爻變は 雷山小過

損災アラシキ人ハ家内ニ愁離

二爻變は 雷天大壯

總テ進ンテ凶シ貴人ニ順フテ宜シ

三爻變は 震爲雷

性急短慮ナレバ少ノ事ニモ損失多シ

相場鑑定

◎此卦を占ひ得たる時

- 巳午の日なれば強し
- 寅卯の日なれば大に高し、卯の日は殊に高し

- 亥子の日は必ず安し、亥の日甚し
- 申酉の日は少し安き方
- 丑辰未戌の日は多くは持合

- 初爻變は高値持合ならん
- 二爻變は持合なり
- 三爻變は下放れありて後戻あり

- 四爻變は大に高し
- 五爻變は市況振はざるも下げも亦少し
- 上爻變は往來あり後少し高し





火山旅

タビ

日傾西山之象

此卦の

見鳥失矢之意

出た時

春秋半吉  
冬秋半凶

此の卦は始は宜しく後に悲となるの意なれば萬事慎むべし故に現狀維持を第一とすべし、矢鱈に動たり、商賣を變へたり、轉業、移轉、普請などするときは散財多しとす故に宜しく今の所は従來の職業を辛抱して稼ぎ居るべし、此の卦は少事には吉しく見ゆることもあれど大事は心中安からず旅に彷徨ふ姿にて無益の事に思ひを費し親みを失ひて苦むことありとす住所に付ても苦勞多くして物事途中で齟齬することありとす

○運氣何事も少ききはよし

○願望横合より婦人の障ありて叶ひ難し

○婚姻は障りありて調はず好し調ふても中途で破談となる

○金談凶

○賣買共に損あらん

○待人は音信あり既に其所を出たれど途

中少し手間取べし

○走人は船汽車で遠く行く後に手紙來る

○失物は南を捜すべし遅ければ他へ出づ

○産は安し初産は女、次は男子

○占病 病ひは心臓、頭痛、眼病、動氣、

○病ひは凶、醫者は南方を吉とす

○祟りは荒神様、観音様、薬師様の祟りとす

○裁判は凶良く信心すれば宜し

○得物不正の人得難し金銀は少し得る

○引越凶、目上の人に順ふて變べし後吉

○天氣は晴れて後曇る

○旅行連あれば宜し遠方は見合すべし

○就職歸參は吉なれど新規は見合すべし

○抱人は凶

肺、胸、熱の差引き、流行病

變卦（未來）は本文の所を見對照して活斷鑑定せよ

初爻變は離爲火 不信心ナレバ不計ズ離別スル事アリ真明ニ宜シ

四爻變は艮爲山 不正明ナルトキハ身分ニ災難多シ

二爻變は火風鼎 進退共ニ時節不至ト心得信心深キ時ハ吉

五爻變は天山遯 萬事邪魔ノ入ル事多シ性急ナレバ損ス

三爻變は火地晉 住處ニ少ク心勞アリ小ヨリ大ニ出ルノ意アリ

上爻變は雷山水火 心中定リ難シ印形書物ノ取引用心スベシ

相場鑑定

◎此卦を占ひ得たる時

●申酉の日なれば大に強し

●巳午寅卯の日なれば安し

●未辰戌の日は必ず上値あり

●亥子の日は結局は變らず

●丑の日少し上がるが多くは持合なり

初爻變は初め強くして後少し安き方

四爻變は意外の高値を出すことあり

二爻變は一旦急下げあり後少し戻しあり

五爻變は小高く持合

三爻變は相場漸次に上昇す

上爻變は急落あり後持合



巽爲風

シタガフ

颶風覆船之象

此卦の

枝折幹仆之意

出た時

春夏秋冬 吉凶吉平

此卦は外見は好く見えても、今一段と云ふ所に至り横合より邪魔入り空しく手に入り難きの理あり遠方へ旅行するか取引などにて家内に入出入の人あるべし又住所に心の落着かざることもあり乗船は慎むべしそは海上波荒れ風怒りて沈没の恐れあればなり何事に依らず途中にて故障が出手違ひの生ずることあり人に誘はれて損することあり然れども己れの意見を捨て剛情を張らず目上の人の言葉に従つて萬事行るが吉し然るときは遠からずして最負引立てられて今の落着かざる心も自然と落着て吉き運勢が來ることありとす。

○運氣何事も正しき人とする事はよし 一願望性急は凶し目上の人にならざるべし

- 婚姻口舌起る見合すべし再縁はよし
- 金談は出来ず
- 賣買は初利あり後損する事あり
- 待人來らず後より手紙の來ることあり
- 走人は早く東南の方を尋ねべし腰をしあり急に知れず
- 失物は東か南の方を捜すべし
- 産は安からず双子を生むことあり
- 占病 病は肝臓・肺・熱高し、肝の蟲、心經病、蟲腹、流行病、夏は瘧り、懷妊
- 病氣長引とす、醫者は東か南の方を吉とす
- 祟りは稻荷様、水神様の祟とす
- 裁判退くを吉とす進むは損失あり
- 得物は得べし信心ある人は十分得る
- 轉宅は兩方に心中定まらず老人の意見にしたがふべし
- 天氣は風吹て晴れる
- 旅行連あれば遠方宜し東方吉
- 就職 心定りがたし見合すべし
- 抱人性急の人心落付かす見合すべし

變卦（未來）は本文の所を見對照して活斷鑑定せよ。

- 初爻變は 風天小畜 色情ヲ慎ム可シ又親シキ人ト不和ニナル意アリ凶
- 二爻變は 風山漸 貞實ナルトキハ目上ノ引立ニ違フベシ
- 三爻變は 風水渙 妄リニ變動セザレバ後々小利ヲ得ベシ
- 四爻變は 天風姤 勞シテ功ナシ返テ婦人ノ災難ヲ用心スベシ
- 五爻變は 山風蠱 不圖シタ事ヨリ人ト爭論スルカ公難アラン
- 上爻變は 山風井 何事モ新規ノ事ハ凶舊常ヲ守テ宜シ

相場 艦 定 ○此卦を占ひ得たる時

- 丑未の日及び戌の日なれば高き事多し
- 己午の日は大に高し己の日殊に甚し
- 辰申酉の日は變化なし持合
- 初爻變は始め上りて後持合
- 二爻變は高下往來ありて後少し安し
- 三爻變は持合
- 寅卯の日は必ず安し卯の日殊に甚し
- 辛亥の日なれば弱くして小往來
- 四爻變は大に高し
- 五爻變は相場強けれども大なる上なし
- 上爻變は大に安し



新月映池之象 此卦の  
有譽有譏之意 出た時  
冬秋夏春  
凶吉凶吉

此の卦は喜の顯るる宜き卦なれども物事取しまりに埒明ぬ意ありて外見は宜しく内心は宜しからずとす好色の事や辯舌の事を以て人と争ふときは意外の失敗、不名譽を取るに心動くことありとす慎むべし婦人は目下の男の爲めに難儀することあり不義のことに心動くことあり初め悦びあれども身を堅固にして慎み居らざるときは終りに苦むことあり他に謀られて思ひ寄らざる讒言に逢ふことあり親しき中にも口舌の起ることあり或は辯舌を以て人を悦ばして利益を得ることあれど又用心せざるときは辯舌の爲めに人より非難攻撃せらるゝことあり家内取締りなく無益の費へ多しとす正直に能く堅固に業務を働くときは益他人の愛情を得て開運成功するものとす

- 運氣何事もあらそひありて宜しからず
- 願望叶ふべし婦人出家の縁なれば早し
- 婚姻は調ふ再縁なるべし
- 金談調ふ
- 賣買半吉なり買は吉
- 待人は遅れて來るとす又音信あり
- 走人は女の所を尋ぬべし方位は西か東とす急に知れがたし
- 失物は怠つて自ら失ふとす女に聞き合
- 占病 病ひは肺臓、頭痛、胸、口中、熱の差引、肋膜炎、逆上、眼病
- 病氣直に治るべし、醫者東の方より求むべし
- 産は安し
- 裁判吉金銀ならば禮拜すべし
- 得物半ば得る心得違ひにて得難し
- 引越變りて吉なれども北は見合すべし
- 天氣は晴にて後ち曇る
- 旅行宜し途中婦人の難を用心すべし
- 就職宜し歸參は見合すべし
- 抱人吉とす

○崇りは不動様、女の生霊とす

變卦(未來)は本文の所を見對照して活斷鑑定せよ

初爻變は澤水困 不正ニシテ我意強キハ災害アルベシ

二爻變は澤雷隨 舊常ヲ守テ宜シ又貴人ノ助力ヲ得ベシ

三爻變は澤天夬 住處ニ心勞有心定リガタシ眞正ナレバ後宜シ

相場鑑定

◎此卦を占ひ得たる時

●子寅卯の日なれば必ず高し卯亥の日最も強し

も強し

●申酉の日なれば下放れあり、酉の日最初爻變は往來變化激し後下る

二爻變は大に高し

も安し

●丑辰未戌の日は少しく安き方

●己午の日なれば持合にして少し安し

三爻變は往來あるも持合

四爻變は買方偉大なる力あり機會なくし

て強し

五爻變は大に安し

上爻變は安値持合



風水渙

チル

順風駕帆之象

此卦の

萍水相逢之意

出た時

春夏秋冬 吉凶吉平

此卦が出たときは苦勞心配も最早や身を離れて之より吉きこと悦びごと來ることありとす然れども身持ち堅固に熱心事を務めざるときは親しき人に離れることあり金錢散することあり思想の變する意あり心が落着かずして安堵することなく住處の苦勞ありとす又いろ／＼と心を使ひ取越し苦勞することあり商賣を變へて遠方へ行んとするか遠方の人と取引することあり餘義なく義理に迫て其れが爲めに浮名の立

つことあり萬事手早くして遅れざるやうにすべし遅れるときは横合より思ひもよらぬ災難又は損失を受けるか、世話苦勞あり從來の業を勵むものは必ず立身發達するものとす

○運氣何事も吉と思へば進でするがよし

○願望叶ひがたし

○婚姻は吉ならず後に離縁することあり

○金談は出来がたし

○賣買は何れも損失あり

○待人は來らず手紙の來ることあり

○走人は早く東南の間を尋ねべし知れる

○失物は東南の方を捜すべし外より知

れて來ることあり

○産は安し

○裁判目上の人と相談して取計へば吉

○得物は半得べし目下は得られず

○普請・開店何れも半吉、轉宅は止るに吉とす

○天氣は風起りて後ち晴る

○旅行は遠方は見合すべし近きは宜し

○轉職は見合すべし

○就職聞ちがひあり真正なれば後よろし

○占病 病ひは肺臟、風邪、動氣、下痢、子宮病、胃病、疝氣、癩病、食痞へ、筋骨の痛み

○病はなほる、醫者は東南の方吉とす

○崇りは稻荷様、女の崇りとす

變卦（未來）は本文の所を見對照して活斷鑑定せよ

初爻變は 風澤中孚

二爻變は 風地觀

三爻變は 巽爲風

不正ナレバ色情ノ艱ミ有  
又不圖口舌スル事アラン

人ノ心背違フ事ヲ用心ス  
ハシ後宜シ

物事性急ナルトキハ家内  
ニ事起ル事有

四爻變は 水天訟

五爻變は 山水蒙

上爻變は 坎爲水

口舌争イアリ萬事和順ナ  
ルニ宜シ

舊幣ヲ守テ宜シ次第ニ目  
上ノ助アリ

不信心ナレバ盜難アラン  
何レ損失ヲ生ズ

相場鑑定

◎此卦を占ひ得たる時

- 申酉の日なれば大に強し酉の日甚し
- 未戌の日は大に高し
- 丑寅卯辰の日は概して持合て動かす
- 巳午の日は必ず安き方
- 亥子の日なれば往來あるも大なる傾きなし
- 初爻變は少しく安き方
- 二爻變は後必ず高し
- 三爻變は漸次下る
- 四爻變は大上昇あり場況革まる
- 五爻變は一時は下げあるも後持合
- 上爻變は賣方更に優勢の者現れ大に下る



水澤節

ホドヨシ

狐涉泥中之象

此卦の

作弄自隕之意

出た時

春秋夏春 凶凶吉吉

此卦が出たときは物事滞り阻ある卦なり故に己れの分限を守りて程度を越さざるときは悦びごと來るとす若し身の分限も計らず矢鱈に事をするときには初め悦びありとも後ら必ず害を來して失敗・散財・口舌等の起る事あり性急にして進むときは必ず仕損じありて不意に災難に過事ありて後悔することあり此卦は辯舌を飾り人を欺き迷はすることなどは別して慎むべし小事は今出来ざれど後に出来るとす何事も手廣くするは宜しからず我れ利口振りて先に立んとするときは横合より邪魔が入ることあり今は運氣滯ふり居るも必ず近き將來に於て望みごと叶ふものとす。

- 運氣何事も調はず
- 願望横合より障り有り中途に間違あり
- 婚姻は急には調はず他を尋ぬる方がよし世話人に虚言あり
- 金談半吉
- 賣買買に利なし賣に利あり
- 待人は來らず、子の日待つべし
- 走人は未だ遠へ行かざれば早く北か南

の方を捜すべし水邊等に居るべし

○失物は低き所か水石の間を捜すべし凶

○産は少し難あり

○裁判様子宜しく見へて折々手段替る

○得物急に得がたし後少し得べし

○占病 病ひは腎臓、腰の痛み、冷へ、動氣、水氣、子宮病、眩暈、

○病ひは永引いて重し、醫者は北方か南方を吉とす

○祟りは女の死靈、水神様、観音様

變卦(未來)は本文の所を見對照して活斷鑑定せよ

初爻變は 坎爲水 憂難災害アリ又不信心ナ

二爻變は 水雷屯 安靜ナルニ宜シ少シテモ  
我意ヲ出ス時ハ心勞有

三爻變は 水天需 舊常ヲ守テ進マザルトキ  
ハ後宜シ

四爻變は 兌爲澤 家内ニ幸悦ノ事有リ又女  
難ヲ防ベシ

五爻變は 地澤臨 余リ進ミスギテ大ニ損失  
アリ老人ニ順フベシ

一上爻變は 風澤中孚 貞明堅固ナル人ハ榮昌アリ

相場鑑定

◎此卦を占ひ得たる時

●巳午の日は必ず多少共上値あらん殊に巳の日は強し

の日殊に安し

●申酉の日も亦安き方

●寅卯の日は必ず高し卯の日最も強し

●亥子の日なれば必ず大下放れあらん子

初爻變は大に高くして場況一變す

二爻變は高く持合ふ

四爻變は持合少し安し

三爻變は持合少し高し

五爻變は持合  
上爻變は一旦安くして後行止り動かす



風澤中孚

マコト

鍋釜得蓋之象

此卦の

鶴鳴子和之意

出た時

春夏秋冬  
吉吉平平



此卦が出たときは根氣強く働くときは必ず發達繁昌す我れ忠實を以てすれば人又忠實を以て我れに應ず故に相談事、頼み事などは次第に吉きに向ふとす、此卦は百事通達するとす、されど人の爲めに苦勞あるべし我れ彼れに欺かるゝの心なしと雖も過りて凶を招くことあり又一途に物を案することあり年若きものは色情を憚むべし目上の言葉に従ひて忠實に其業を勵み居るときは憂ひ心配日に散じて喜びこと來るものとす。

- 運氣何事もよこしまなければ吉
- 願望叶ふべし中途にてさわりあるべし
- 婚姻は調ふ少し長びく
- 金談は調ふとす
- 賣買利ある可し性急なれば損失あり
- 待人は手紙の來ることあり人は來ず
- 走人は早く東南の方を捜すべし將さに遠へ行かんとす
- 失物は箆筒か戸棚の隅を捜すべし遅ければ人手に渡る

- 産は安し辰巳酉の日なるべし
- 裁判和談にすれば後々には利あるべし
- 得物は半得べし能く〜貞なれば皆得ることあり
- 轉宅は手違のなきやう念入にすべし
- 普請、開店、吉とす
- 占病 病ひは風邪、動氣、逆上、蟲、神経病、口中の煩ひ、腦、啖咳、腫物
- 病ひは永引いて重し、醫者は南西の方吉とす
- 崇りは佛様、慾心に付ての崇りとす
- 天氣は風ありて晴れる
- 旅行連あるは別して宜し
- 轉職吉とす
- 就職は目上の助有てよろし貞正なれば出世ある可し
- 抱人貞正堅固なる人なり後々爲になる

變卦（未來）は本文の所を見對照して活斷鑑定せよ

初爻變は 風水 渙 心中定リカタク心急ソグ  
 二爻變は 風雷 益 貞明ナレバ次第ニ幸慶ヲ得

三爻變は 風天小畜 性急短慮ナルトキハ住居ニ動アラン  
四爻變は 天澤履 家内ニアヤム事有心勞多シ信心スベシ

五爻變は 山澤損 止退シテ時ヲ待ツニ宜シ後必ズ家幸アリ  
上爻變は 水澤節 不信心ナル人ハ家業ニ邪魔入有リ損失多シ

相場鑑定

◎此卦を占ひ得たる時

- 干亥申の日なれば多少強し干申の日大に高きことあり
- 酉の日少し高し
- 丑未戌の日なれば必ず安し
- 初爻變は後大に下る
- 二爻變は往來あるも傾かず
- 三爻變は大に安し
- 四爻變は格外の下値を出すことあり
- 辰の日は持合ふて動かす
- 巳午の日なれば多少安き方
- 寅卯の日は少しく變動あり後小高し
- 五爻變は持合小安し
- 上爻變は不時を唱へて高し



雷山小過

スグル  
アヤマチ

飛鳥過山之象 此卦の  
門前有兵之意 出た時  
春秋夏春 冬秋夏春  
平凶吉吉

此卦が出たときは鳥の飛ぶを目に見其聲を聞きて平に捕ふる事能はざる意にて萬事調ひがたし故に進むに吉しからずして退て止り居るに吉しとす初めは様子吉く見ゆれども中途で間違が生ずるか或は横合より邪魔の入ることありて彼れ此れと心一致せざること恰も背中合せの如くであり住居に心落ち付き難き事あり小事は大抵吉なれ共大事は成功せず勞して功無き事多し親しき人の心變りする事あり從來の業を守り居るが吉動けば益々損失あらん。

○運氣何事も少さはよし

○願望は叶がたし

- 婚姻は中頃で故障起りて調はず
- 金談凶し
- 賣買は利なし
- 待人は来りがたし後さたある可し
- 走人は急に知れがたし東北の方を捜すべし汽車か船に乗て遠くへ行んとす
- 失物は出がたし
- 産は少し苦みあり
- 裁判損多く長引利なし和解吉
- 占病 病ひは熱高し、腰痛み、疝氣、筋骨、蟲、食傷、手足の煩ひ、脚氣、血の道、子供は甘、夜啼、又男は疝氣、流行病
- 得物は金銀は得がたし外は少し得べし
- 轉宅止まるによし我意に動くは損多し
- 普請開店凶とす
- 天氣は風雷あり午申酉は日和なるべし
- 旅行見合すべし途中に病難あり
- 轉職は凶とす
- 就職は見合すべし後口舌起る
- 抱人性意なる人ならん大抵見合す可し

- 大病なるべし、醫者は東方吉とす
- 祟りは藥師様、女の生靈

變卦(未來)は本文の所を見對照して活斷鑑定せよ

- 初爻變は 雷火豊 盛ニスギテ思案ノ落付キガタキ事多シ
- 二爻變は 雷風恒 家内目下ノ者ニ悦アルベシ又舊常ヲ守ニ宜シ
- 三爻變は 雷地豫 婦人ノ事ニ付テ内証ニ物入アラシ又書物注意ニ可
- 四爻變は 地山謙 心身堅固ナレバ大ニ宜シ主人目上ノ引立ニ違フ
- 五爻變は 澤山咸 婚姻養子ナドノ世話事アルベシ何レ幸アリ
- 上爻變は 火山旅 不圖病苦或ハ損失アラシ信心スベシ

相場場 鑑定

◎此卦を占ひ得たる時

- 寅卯の日なれば多少上値あり
- 子亥の日なれば大に高し
- 申酉の日は必ず大下放れあらん、申の日最も甚し
- 辰未戌の日なれば多少安き方丑の日は持合多し
- 巳午の日は持合

初爻變人氣弱くして相場却て少し高し  
二爻變は變化あり後少し高し  
三爻變は相場デリ〜安き方

四爻變は持合相場  
五爻變は大に崩潰して相場一變す  
上爻變は持合後安値を出す



水火既濟

ツク  
ステニナル

芙蓉戴霜之象  
西施傾國之意

此卦の  
出た時  
春秋夏春  
吉平凶平

此卦が出たときは物事宜しきやうなれど末を保たず半途にして仕損し後悔することあり最早や物の盡きたるなり、故に一旦は成就するとも末は物の亂れ散ることありとす之を以て今まで續きたる事業も變動して此先き如何にと氣支ひ案ずることあり妻子の間に口舌起るか親しき人と争ひ出来るか離れるか又は義理に引され

て退引きならぬ事情入り来るか色情に溺れて不覺を取ることあり口舌争論ありて困難の場合多しとす、住所を動かすか商賣變せんことあり、物事離散し易きことあれば慎むべし現狀維持を守るを第一としるべし

- 運氣何事も凶となるべし
- 願望急に叶ひがたし後叶ふ
- 婚姻は急には調ひがたし調ふても後に口舌起る見合す可し
- 金談は凶し
- 賣買共に凶し後少し利あり
- 侍人は來らず
- 走人は未だ遠くへ行かず早く北か南の
- 産は安し
- 裁判少事より大事となる和解によし
- 得物は得がたし
- 轉宅・開店はよし我意に任ずるは凶
- 天氣は水氣ありて曇り後晴る
- 水邊を尋ぬべし
- 失物は盜・内にあり能く床下か箱の隅か水石の間を捜すべし

○旅行は大抵宜し連無き時は見合すべし ○抱人色情のなやみあるか損失あらん

○就職争ひ事ありて凶し

○占病 病ひは腹、胃腸病、疝氣、頭痛、腰より下の煩ひ、長血

○病は長引く可し、醫者は北方か南方が吉とす

○崇りは水神様、観音様

變卦(未來)は本文の所を見對照して活斷鑿定せよ

初爻變は 水山蹇 不信心ナレバ我が心ヨリ 究屈シテ萬事凶

四爻變は 澤水草 目上ノ人ニ順フテ事チ改 易スルハ宜シ

二爻變は 水天需 安靜ナルニ宜シ性急ナル 事凶時節ヲ待ベシ

五爻變は 地火明夷 一度苦シンテ後ニ出世ス ル事アラシ

三爻變は 水雷屯 安リニ變動スベカラズ不 風災難アラシ

上爻變は 風火家人 親シキ人カ家内ニ幸慶ア ルベシ

相場鑑定

◎此卦を占ひ得たる時

●巳午卯の日なれば多少高し

●午寅の日は大上放れすることあり

●子亥の日なれば必ず安し

●丑辰未戌の日は高下一定せず多く持合

●申酉の日なれば多少安き方

初爻變は強き相場なれども其割に上らず

四爻變は大に安し

二爻變は往來あり後小高し

五爻變は持合にして時に小安きことあり

三爻變は一旦急落あり後變ありて高し

上爻變は安く保合



火水未濟

イマダナラズ

曙光浮海之象

此卦の

出た時

春夏秋冬 吉吉平平

此卦が出たときは初めは物事調はずとすれど能く辛抱して稼で居るときは思ふこと望みごと叶ふとす、縁談、就職を望む人は忠實に能く勉めて居るときは目上の助

けを得て幸福に有附くことあり短慮を起したり輕進したりするときは物事半途にして故障出で來りて爲めに散亂し、失敗し、中止し、取越し苦勞して氣分の塞ぐことあり、萬事注意して事を換へたり業を變じたり住處を動いたりせず從來の業を固く守りて稼ぎ居る時は開運繁昌を來すこと疑ひなし注意せず彼此れと手出しするときは不圖したことより迷ひを取ることもあり又言ひたきことも言ひ出して善きか悪きかと猶豫すべき場合もある色情を慎むべし何事も急がず心靜かに今までの業を固く勤め居れば其内には必ず相談相手も出で來て開運成功するものとす。

- 運氣は何事も後々程よし
- 願望は叶ひ難し強くすれば叶ふ
- 婚姻は始め調はざる状あれど後に調ふ
- 金談は半吉
- 賣買は賣に利なし買に少し利あり
- 待人來る事をそし丑午の日に來る
- 走人は早く北か南の方を捜すべし汽車か船に乗て出んとす

- 失物は他人の手に渡る出がたし
- 産は安し
- 得物は急に得がたし終に少し得
- 裁判甚だあやうし急に利なし和談吉
- 轉宅は見合すべし後に心勞あり
- 占病 病ひは心臓、熱の差引、神經病、血の道、眼病、流行病、下痢
- 病ひは永引けども治る、醫者は北方を吉とす
- 祟りは觀音様、荒神様、
- 天氣は晴れて後ち雨ふる
- 旅行は凶し連あるとも見合すべし
- 就職急になし目上の助けを受くべし
- 抱人苦るしがらずしかし夏は凶とす

- 祟りは觀音様、荒神様、
- 變卦(未來)は本文の所を見對照して活斷鑑定せよ
- 初爻變は火澤睽 不斗女難アラン總テ心勞多シ信心スベシ
- 三爻變は火風鼎 信心深キ人ハ家内ニ幸悅アリ書物ヲ用心スベシ
- 二爻變は火地晉 貞正ニシテ進ンテ宜シ我意ニ進ムトキハ後悔有リ
- 五爻變は天水訟 親キ人ト不斗口舌爭論ノ起ル意アリ

四爻變は山水蒙

貴人目上ノ人ニ順フテ宜シ我意ヲ出スハ損失アリ

上爻變は雷水解

舊常ヲ守テ宜シ又油斷シテ損災アリ

相場鑑定

◎此卦を占ひ得たる時

●申酉の日なれば必ず高し、酉の日は殊に強し

●寅卯の日は多少安き方  
●亥子の日は多くは持合

●未戌の日なれば大に高し、丑辰の日は持合ふこと多し時に反對に安き事あり

●亥の日は少し氣を持ち上ることあり  
●巳午の日なれば大に安し

初爻變は少しく下りて持合

四爻變は漸次上昇す

二爻變は後必ず高し

五爻變は持合

三爻變は大に下る

上爻變は一旦安くして後又戻り有て持合

易占をなさんとする者は先づ最初に左の要点を記憶せらるる事は誠に肝要の事なり且つ又便利なり、何とならば今後は何卦が出ることも是を應用活斷鑑定すれば容易に其要を掴み得るのみならず立ち所に判斷出來得ればなり依て重要なる箇所を集輯し讀者の便を計りたれば、諸君其至れり盡せる本書を領とせられよ。

變卦の時の活斷早覺え

(各爻の變したる時)

(三爻)

(二爻)

(初爻)

ダンム、名ノ上ル所トシ、ダンム、四ニ近ヅキ寄レバ身ヲ慎シマザルトキハ主人ノ番頭ヤ主人ノ御側ニ讒言ニ逢フコトアリ故ニ又之ヲ多恐ノ地位トス

心バカリ進ム意アリ、思フコト漸々外へ出タルモノトス、望ミ事ハ叶フ、自分一人ノ身トナリタルトス、尤モ仕損シ有テ漸ク仕途ゲシナリ、最早四爻ヘノ望ミ出來ル所ナレ、ハ上ノ上マテ望ミテ過ス心アリ、何人モ立身ノ事モアル、奢ノ心ガ出ル、心掛シキ者ガ力トナル、色情ハ浮名ガ立ツ所

君子終日乾々夕惕若咎ナシ

臣、家來、大將ノ地位、名譽ヲ現ハス地位、此處ガ一番ニ我が才智ヲ現ハス所、子ノ地位トス彼レ是レト心配スルノ意アリ、心支ヘ人ニ背ク意アリ、心落付カザル意、何事モ目上ニ任セノ意親方ニモタレ居ルトス、獨立テキズ、願望、病氣其他總ベテ身命ニ掛ル程ノ重要ノ地位トス

見龍、田ニアリ大人

ヲ見ルニヨロシ

初爻ヲ物ノ始メ、賤位或ハ目下トス、或ハ郊外國都ノ外、遠方トス物ヲ企ツル意アリ、住所安カザル意アリ、女ノ爲メニ動ク意アリ、人ニ押ヘ隔テラル、意アリ願望等ハヨシ叶フトモ種々苦シミ色々モツレテ後ニ調フトス、親ノ育テヤウ惡シキガ故ニ子ノ心ニ緩ミアリ、色情アレバ親シキ者ガ仇トナルモノトス

初九ハ潜龍用キルナカレ

(上爻)

(五爻)

(四爻)

至高ノ地位、上皇法皇ノ地位、隱居ノ地位トシ國都ノ外、郊外遠方、外國トス

後悔ノ意アリ、遠方ニ通ズ他國へ行クカ、思案ニ迫テ進退如何ニセントスル意アリ、離別スル意、隱居スルノ意、商賣ハ愛敬アリ、五爻ト同シクシテ五爻ヨリ一段凶トス、病人ハ療治違ヒノ意アリ、了簡違ヒアリ、陰交ナレバ怒アリ、又陽交ナレバ憐憤晴レタリ、物ヲ一束ニク、ルノ意アリトス

上九ハ亢龍悔イアリ

天子ノ位、主君、目上、親、有功ノ地位、中正ノ地位、九五ノ位トシテ之レガ一番貴キ所トス

思案定ラズ、物驚キアリ、改業ナドニ就テ心勞ニ迫ル事アリ、人ヲ抱ヘル意、物事大概成就ノ形アレドモ敗レテ取ル意アリ、陰交ナレバ目上ノ引立アリ、生レナガラ徳高シ、自分ノ動メ行ヒ手柄ナキ人トス、人ヲ使ヒテ何事モ人任セノ意トス、病人ハ醫者任セニシテ仕損アリ、胸躍リテ動氣ノ意アリ、吉凶共ニ身命ニ掛ル程ノ重要ノ位置トス

飛龍、天ニ在リ

天子ニ近附ク、主君ニ接近スル主人ノ御側、番頭ノ地位トス、能ク慎シムトキハ主君ニ寵愛セラル、カ若シ慎シマザルトキハ忽チ叱ラレル故ニ又之レヲ多恐ノ地位トス

住所安カラザル意アリ、謀破レタル意、物ヲ企ツル意アレドモ何事ニ因ラズ凶トス、中搦ミノ意アリ、離レ察アレバ百事大切ノ所、病人ハ療治違ヒアリ、萬事踏ミハズシテ大海ニ陥ルガ如キコトアリ

九四ハ或ハ躍テ淵ニアリ咎ナシ



### 六爻不變の元機

六爻不變の元機とは一卦若くは一爻毎に左の品類が備り居て之が易の六爻の元機で

上爻	上皇 丑寅 天、東、	天子 亥子 中央、	公卿 未申 西、	士大夫 巳午 巳、午	國土 卯辰
五爻	隱居 父、天、	主君 母、路、	皇女 門、南、	有司 中、央、	人民
四爻	棟梁、 ノ位	父母 ノ位	大臣 家老 ノ位	天、	下賤 ノ位
三爻	人、	母、	地、	勢、狀	人
二爻	人、	身體	身體	前	首
初爻	人、	身體	身體	前	首

人の場合は首 後足 身體 腹 前 足  
 獸の場合は尾 後足 身體 腹 前 足  
 變せず動かざるものとす之を六位とも六位の位置とも言ひ如何なる占ひにも能く之を記憶して活斷に應用し、以て斷定を下すものとす。

### 他人の心中を看破する秘術

内卦(下卦)を其の人の心の内、氣質とす。外卦(上卦)を其の人の容貌とし、表面身装とす例へば火水未濟の卦が出れば顔(上卦)は厳しく派手なれども然し其心(下卦)は陰氣で、心弱く、物を恐れ危ぶみ、静かなる心ありと鑑定するのである。



**乾**  
 思案工夫シテ居ル、望ミ事アリ、心遣ヒ氣兼  
 ネスル、急キイラツク心アリ、少シ自慢ノ意  
 アリ、尊シ、乗ル、高シ、表裏アリ、大ナル事ヲ  
 思ヒ居ルトス。



**兌**  
 少シ怨ム心アリ、顔ト心ト違ヒアリ、娛ミ好  
 ム信實ナラズ、人ニ能ク思ハレタガル、迷ヒ  
 居ル、口、水氣 シチラシ、欠ケタルモノトス



**震**  
 少シ争フ心アリ、心動ク、殿シトス、短氣、  
 表面ヲ飾リタガル心アリ、氣兼ネスル、迷ヒ  
 心アリ、勇ム心アリ、派手ナ氣風アリ、附ク  
 離レル、文彩アリ、窓、目トス。



**離**  
 浮氣、騒ガシ、住所ニ付イテ案ズルコトアリ  
 旅行ノ思ヒアリ、腹立チトシ、大ナル望ミア  
 リ、又危アム、動ク、長シ、シワガシ、響キ  
 アルモノトス。

巽

野心アリ、大ナル望ミアリ、人ヲアヤシムコトヲ思ヒ居ル、始末ヲスル、柔和、物ニコル辛勞アリ、糸組、柔カキモノ、術トシ手練、シメク、リアリトス。

艮

野心アリ、思ヒ付キタルコトアリ、浮氣、迷ヒ心、後悔スルコトアリ、色情、氣ヲセク、引キ揚ゲル、押ヘル、蓋、掩フトス。

坎

陰氣、柔和、物靜カ、コルトス、恨ミ、心迷フ、強ク案ジテ居ルコトアリ、差シ込ムトス空、包ム、心アリトス。

坤

柔和、シツトリト落ち付テル、人ノ世話ヲ思ヒイル、人ノ身ノ上ヲ案ズル、丈夫ナル氣、心忙シトス、乗セルモノ、集メル、數アルモノ重シトス。

外卦(上卦)を以て身の上活斷の早覺え



乾は健なり此卦は物事滞り無く埒明意なり 「進退表裏の解と可知」

天が上にあるときは目上に付て恐れあり若し恐れざるときは、害、其身に及ぶ、一目下の者が恩を忘れて却て仇をすることあり、親しき女などは別して注意すべし。

聰明して行儀正しきものとす、剛情張るとし、高振るとし、身分住處の動きあり、物事盛衰の境目とす、旅行、移轉、縁談、身分や身上に變化ありとす。



兌は悦の意なり口を開の形を取る 「好悪榮辱ノ意可解」

澤が上にあるときは不意に出來たることあり、思ひ詰つて後を省みざることあり、女は器量美く丸顔にして色白くお世辭が良くして裁縫も出來るとす髪は美しく少し媚びて色目を使ふことありとす、女難ありとす、金に縁ありとす、遊興とし、口舌とし、辯舌能しとす。



離は麗の意なり陰陽の間につく也 「浮虛不靜ノ解可考」

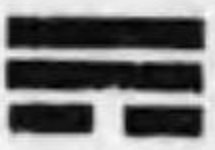
火が上にあるときは世話事ありとし、見榮張るとし、相場心ありとし、逢ひ易く離れ易しとし機嫌買ひとし、驕り我儘とす、人を煽動て、亦我も人に煽動て落さる

とす厄介者ありとし口故に愛せらるるとす然れども慎まざるときは口舌起りて難儀の來ることありとす、先きばかりを見て、足許は御存じなく頓と氣の付かぬ意もありとす、又短氣や聰明が顔に顯はるゝとす



震は動くの意なり 「禍福出己ノ意」

雷が上にあるときは其人は心に動くことあり、遠方の取引き、望みごとあり、引立てらるゝことあり、名の擧ることあり、世話事あり、間違ひありとし、物事取縮りなしとし、古き事が再發せんとするの意あり、威勢あり、主旨なる者が不足して埒明すとし、家が治り難しとす、求めて工夫したる業とし、胸中の働きとし、女は心情深しとす。



巽は入の意なり 「相遇相離の意」

風が上にあるときは人に好き嫌ひあり、毛嫌ひすることあり、慾張ることあり、商賣心あり、遠方と取引きあり、望み事あり、引立てられることあり、名の擧ることあり、世話事あり、縁談あり、早ければ調ふが遅ければ調はず、女が男に下る意とす、心や其身が定まらずとす、新と舊が付き又離れるとし、物を待つ心ありとし、他の家へ志がありとし、養子に行か入智となることありとし、人に愛せられたり、嫌はれたりすることありとす、常に柔和なれども怒る時は甚だ激しとす。



坎は陥るの意なり陰中に陥るなり (進退有險ノ意)

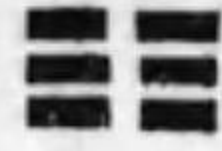
水が上にあるときは、我が身の上や又は人の身上を心配し居とるし、目下の心配とし、住所身分の動きとし、法立とす、金銭乏しとし、物の破れを氣支ふとし、待遠き心とし、他人の難儀に及んことを案じ居るとし、女は色情ありとし、又苦勞

ありとし、坤より來る卦は色情の心か内に動けども未だ表面に現れずと坎の(水)重りたるは色情ありとし、或は智慧ありとす、女は笑ひ顔なくして面に黒點ありとす。



艮は止の意なり何事も上に止まるなり (有限不進ノ意)

山が上にあるときは金銭、世帯に附て思案することあり、立身又は渡世の工夫あり、他人と交りて氣兼ねする事あり、他人の言を用ゐず、色情浮氣あり、家内不和合、盜難、失物を注意べし、女は經水不順とし、懷妊の兆しありとす。



坤は順ふの意なり陰は陽に順ふなり (進退表裏ノ解ト可知)

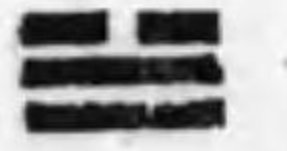
坤が上にあるときは女は月經不順とし、懷妊とし、又其の顔に黒痣ありとし、亭主に代つて家の事をするとし、子に付て苦勞ありとし、主なるものを求め置く心あり

りとす或は主なる者に離れて便る所がなしとす、力を落すとす、疑ふ心ありとし、商賣とし、相場心とし、山師心ありとし、出來心とし、留守とし、表面は善けれど心中は卑賤とし或は上位に昇ることもありとす。

八卦の品類の早覚え



乾 (天) 金、スベテノ銅鐵類、堅キモノ、寶物、冠、珠玉鏡、圓キもの、神社ノ近所、高キ所、遠キ所、都會、二階建、壁、天鵝、象、獅子、首ノ病ヒ、逆上、熱、肺、父トシ、埒明、乾キタル物、辛キ物ヲ珍シキ物、色ハ白赤



兌 (澤) 兌ハ悦ブ、妾トシ少女トス、色情、遊興、金物、音樂、樂器、星、月、井戸、池、澤、水邊、羊、猿、雀、逆上、テキモノ、皮膚病、虫齒、肺、飲食進マズ、辛ナキ物、カケタル物、穴口ノアル物、色ハ白



離 (火) 離ハ麗セ、火、日、太陽、光明、宮社、窓、人ノ集ル所、爐邊、中女、相場心アル人、美シキモノ、書キ物、雉子、蛤、蟹、龜、心臟病、頭痛、目、腫、逆上、心配ノ類、燒キタルモノ、殻ノアル物、色ハ赤、紫

**震** (雷) 震ハ動クモノノ意也、乗物、車、往來、橋、建物、柄繁華ノ地、二階建、樹林、竹林、草木、龍、蛇、百虫皆屬ス、勇子、怒ル、馬ニ乗ル、肝ノ病、タンセキ、熱高シ、驚ク、雷、虹、色ハ青、碧、黄長男トス

**巽** (風) 巽ハ入ル、也人ノ集ル所、花園、柳、寺神社ノ近所、長キモノ、柄ノアルモノ、先ノ尖リタルモノ、長女、學者、修驗者、藝人、扇、團扇、鏡、鶴、鹿、兔、蛇類、肩コリ、肝ノ虫、中風、腰ノ病、色ハ青、綠、白長女トス。


**坎** (水) 坎ハ陷ルノ意、中男、舟人、盜、流浪ノ人、水、水鳥、水中ノ物、山川ノ間、險阻ノ地、鏡、鑽、難儀苦勞、不運、失敗、金錢乏シ、棟、雨、雪、霜、雲、月、水鳥、四足ノ類、魚、狐、胃病、下ノ病、心臓病、色ハ水色

**艮** (山) 艮ハ止ル也、小男、山門、出入スル所、坂、止マルトス、荷フ、墓地ノ近所、雲、霧、嵐、鶴、雉子、鷺、百鳥皆屬ス、腎長キ獸、牛、骨、鼻、胸ノ病、テキモノ、瘡毒、色ハ黄

**坤** (地) 坤ハ須ノ意、母、平地、田野、倉庫、柄ノアルモノ、行列、道連、並ビ行ク、迷トス、牝馬、牛、雁、時鳥、蟻、布、帛絲類、瓦器、農人、樂人、客荷、食當リ、腹ノ病、梅毒、疾毒、色ハ黒

### 五行相尅の判断

旺、相、死、囚、休とは五行(木、火、土、金、水)の相生と相尅に依て盛衰死活を判断するものなり即ち圖の如く春は巽 と震 と旺となりて吉とす但し巽と震とは五行で云へば木なり此の木は夏の離と(火) に行けば之を木生火と言て之も相生すれば吉とす、然し之は我より氣を洩らしての相生なれば利少しとす他(天)より相生を受るを大吉とすソは木なれば坎(水) より水生木と相生を受る之を他より相生を受るとも或は天より相生を受るとも言ひて之を大吉とす、其人の本命五行も亦用ひて相生相尅を見るべし春の占ひに坤 と艮 の二卦が出れば之れ春は木にて坤艮は土なれば之れ木尅土にて死なれば凶とす春の木が乾

兌  の二卦を得れば乾兌は金なれば之れ金尅木にて凶なれば凶とす餘は之に倣ふべし

春(木)は震と巽の二卦 夏(火)は離の卦 土用(土)は艮と坤の二卦  
秋(金)は乾と兌の二卦 冬(水)は坎の卦とす

行衛知ず、頓死、祟りを看破する秘術

木尅土には 住處ノ動キ、又ハ修繕ノ災ヒアリ、目上ニ逆フトス、○四足ノ祟アリ、蛇ノ祟リモアリ

火尅金には 怨ミソネミヲ受ルコト、念慮ノ掛ルコト、女ヨリ怨マルコト、不正ノ巧ミモアリ、金錢ニ苦シムコト、火難、逆上、虫齒アリトス、神ノ祟リ女ノ祟リモアリ

金尅木には 一旦榮エハアレド普請ノ災ヒヤ家出テノ者、眼病、片目、變死頓死ノ者アリ

水尅火には 行衛知レズノ者アリ、ヤケド、火事、眼病、溜飲、胃病、子宮病、下ノ病ヒアリ、色情ノ祟リモアリ

土尅水には 住處ノ動キ、移轉、家出ノ者ヤ親戚身内ニ眼病、片目或は水死ノ者アリ、腹ニカタマリアリ、埋井アリ、普請ノ災ヒアリ、荒神ノ祟リ、井戸神様ノ祟リモアリ

- 乾(金、父) 兌(金、少女) 離(火、中女) 震(木、長男)
- 巽(木、長女) 坎(水、中男) 艮(土、少男) 坤(土、母)

頼みごと願ひ事の成功する人

乾 ☰  
ハ金ナリ故に

乾の卦が上にあるときは金へんの付た姓名の人に頼むべし

兌 ☱  
ハ金ナリ故に

兌の卦が上にあるときは口へんか水へんの付た姓名の人に頼むべし

離 ☲  
ハ火ナリ故に

離の卦が上にあるときは八へんの付た姓名の人に頼むべし

震 ☳  
ハ木ナリ故に

震の卦が上にあるときは木へんの付た姓名の人に頼むべし

巽 ☴  
ハ木ナリ故に

巽の卦が上にあるときは木へんの付た姓名の人に頼むべし

坎 ☵  
ハ水ナリ故に

坎の卦が上にあるときは水へんの付た姓名の人に頼むべし

艮 ☶  
ハ土ナリ故に

艮の卦が上にあるときは土へんか土の付た姓名の人に頼むべし


坤 ☷  
ハ土ナリ故に


坤の卦が上にあるときは土へんの付た姓名の人に頼むべし


右は縁談、金談、就職、仕官、願望等、總て頼み事、願ひ事、相談事を依頼すれば他の人に依頼するよりも早く調ひ、できるものとす。


里數、金錢、日數、其他の數と十二支と時刻を知る法


注意 何れも事の大小輕重により(五錢とか五十圓と)活斷して鑑定せよ


(乾)  乾が上ニアル時ハ一ノ數即チ一里、十里、一町、一間、一尺、一圓、百圓、千圓、一錢、一日、十日、十一月、三十一日、又は一月、十月、十一月、一ヶ月、一年、十年トス、戌月、亥月、戌月、亥月及ビ年、午後八時ヨリ十二時迄


(兌)  兌が上ニアル時ハ二ノ數即チ二里、二十里、二十町、二十圓、二圓、二百圓、二錢、二日、十二日、二月、十二月、二年、二十年、酉日、酉月、酉年トス、午後六時ヨリ八時迄


(離)  離が上ニアル時ハ三ノ數即チ三里、三十里、三町、三間、三圓、三十圓、三錢、三日、三十日、三月、三年、午ノ日、午ノ月、午年、正午ヨリ二時迄

(震)  震が上ニアル時ハ四ノ數即チ四町、四十町、四十間、四百里、四錢、四十錢、四百圓、四十圓、四日、二十四日、四月、四ヶ月、四十年、卯ノ日、卯月、卯年、午前六時ヨリ八時迄

(巽)  巽が上ニアル時ハ五ノ數即チ五里、五十里、五町、五間、五尺、五錢、五十錢、五圓、五日、五十日、五月、五年、辰日、巳日、辰月、己月、辰年、己年、午前八時ヨリ十二時迄

(坎)  坎が上ニアル時ハ六ノ數即チ六里、六十間、六町、六圓、六百圓、六錢、六日、十六日、三十六日、六ヶ月、六年、子ノ日、子ノ月、子ノ年、午前〇時ヨリ二時迄

(艮)  艮が上ニアル時ハ七ノ數即チ七里、七十間、七尺、七圓、七十錢、七錢、七日、十七日、七月、七年、丑日、寅日、丑月、寅月、丑年、寅年、午前二時ヨリ六時迄トス

(坤)  坤が上ニアル時ハ八ノ數即チ八尺、八町、八十間、八里、八圓、八十圓、八錢、八十錢、八日、八十日、八月、八年、八十年、未ノ日、申ノ日、未ノ月、申ノ月、未ノ年、申ノ年、午後二時ヨリ六時迄トス

△内卦ヲ我トス内卦ガ動クトキハ我レ動クトシ又近キ所トス  
○外卦ガ動ク時ハ相手ガ動クトシ又遠キ所トス



外卦(相手又ハ遠キ所)

☰ 之上上爻ト云フ、上爻ヲ六圓、六十錢、六人、六十人六ヶ月六年トス

☱ 之上五爻ト云フ、五爻ヲ五圓、五十錢、五人、五十人五ヶ月五年トス

☲ 之上四爻ト云フ、四爻ヲ四圓、四十錢、四人、四十人四ヶ月四年トス

内卦(我又ハ近キ所)

☳ 之ヲ三爻ト云フ、三爻ヲ三圓、三十錢、三人、三十人三ヶ月三年トス

☱ 之ヲ二爻ト云フ、二爻ヲ二圓、二十錢、二人、二十人二ヶ月二年トス

☲ 之ヲ初爻ト云フ、初爻ヲ一圓、十錢、一人、十人一ヶ月一年トス

子の數と兄弟の數の知る法

乾 ☰ 四人、一人  
九人トス

兌 ☱ 二人、四人  
九人トス

離 ☲ 三人、七人  
二人トス

震 ☳ 四人、八人  
三人トス

巽 ☴ 五人、三人  
八人トス

坎 ☵ 六人、二人  
一人トス

艮 ☶ 五人、七人  
十人トス

坤 ☷ 五人、八人  
十人トス

乾が出来るときは子は四人か九人か一人ありトス兄弟の數も之と同じ○以下皆之と  
同じこと尤も之は概數を擧げたものである。

人事及び  
相場鑑定 易の神秘(終)

昭和十三年五月二十日 印刷  
昭和十三年五月廿五日 發行

不許複製

發行所

〔人事及相場鑑定易の神秘〕

定價 壹圓五拾錢

著者 高島易學研究會

發行者 大谷徳之助  
東京市神田區神保町一ノ三〇

印刷者 岩見雄司  
東京市神田區猿樂町二ノ一三

東京市神田區神保町一ノ三〇

大洋社

振替東京五九〇二番

製本・大洋社製本部



大 洋 社 版 行 賣 絶 頂 の 書

彌太郎著 面白く 解いた 趣味の 哲學 定價 貳圓 <small>(四六判函入上製)</small>	藤治著 臨床 皇漢藥 醫方詳 解 定價 貳圓 <small>(菊判函入上製)</small>	萩一郎著 家庭療 病寶典 定價 貳圓 <small>(四六判函入上製)</small>	堀越龜藏 市石圭佑 すえ方 圖解 お灸の 新療法 定價 壹圓五拾錢 <small>(四六判函入上製)</small>	澁耳著 支那獵 奇秘話 定價 參圓 <small>(四六判函入特製)</small>	澁耳著 支那哀 怨秘史 定價 參圓 <small>(四六判函入特製)</small>	金治編 滿蒙獵 奇秘話 定價 參圓 <small>(四六判函入特製)</small>	松尾著 株式相 場の實 戰術 定價 壹圓五拾錢 <small>(四六判函入上製)</small>
--	--	---	---	--	--	--	---

終

